

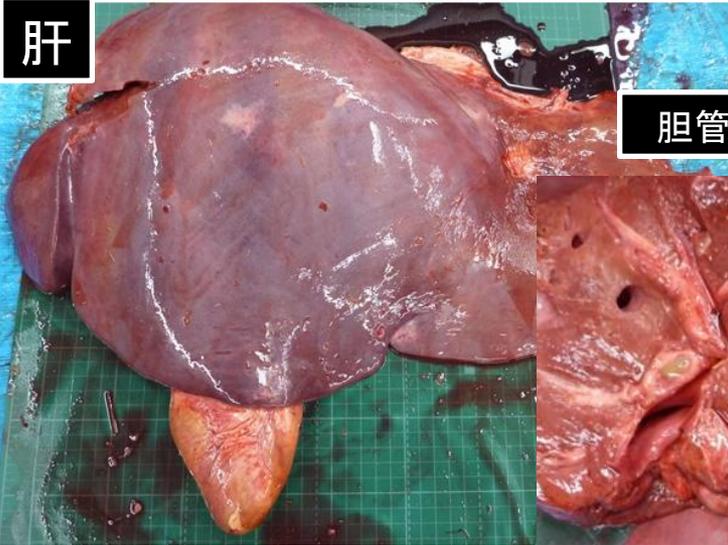


晴天時



雨天時：川となる湿地帯あり

図1：A農場牛舎および放牧地



胆管壁の肥厚、石灰化



右肺

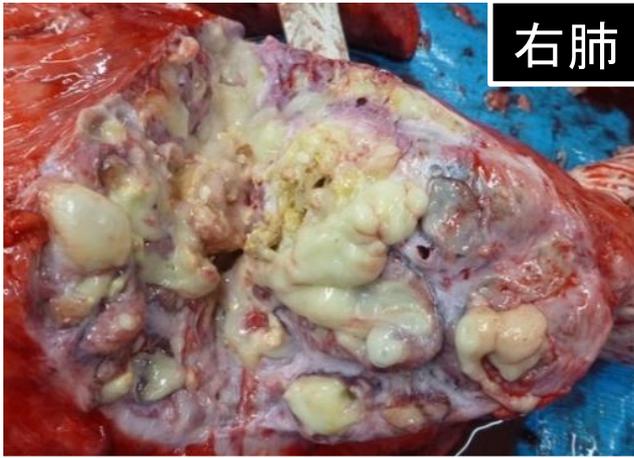


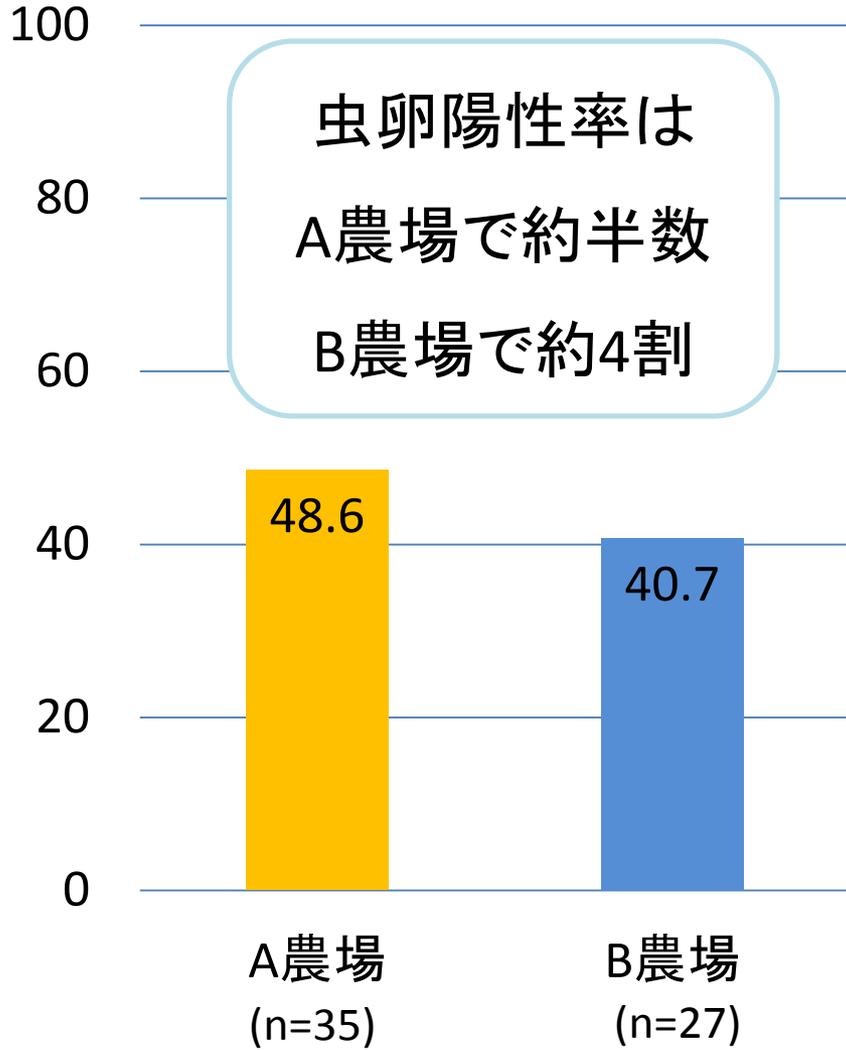
図2: 外貌および剖検所見

粗
↓
細



図3: 昭和式肝蛭虫卵検査法
および時計皿法

虫卵陽性率(%)



平均GGT(U/L)

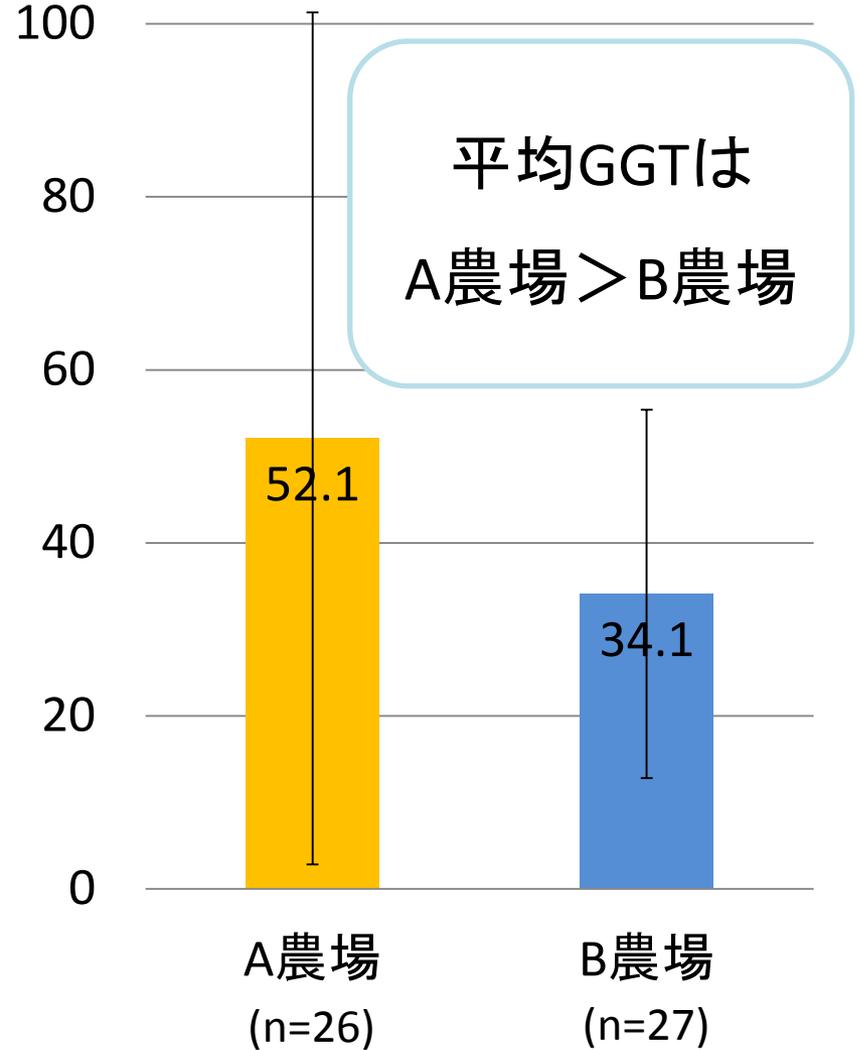


図4: 浸潤状況調査

A農場

B農場

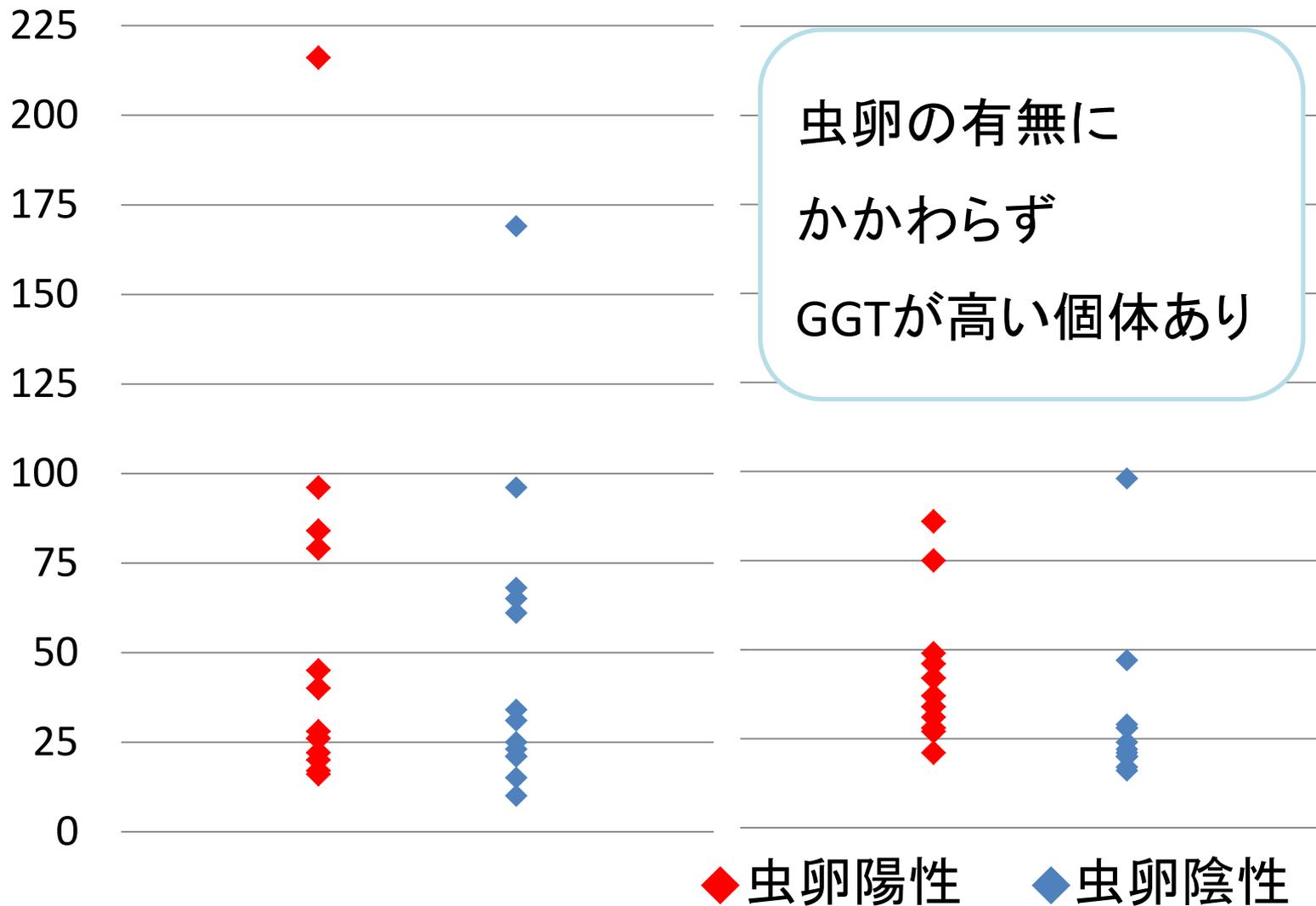


図5: 浸潤状況調査 個体別GGT値 (U/L)

放牧帰還牛

10頭全て虫卵陽性。

平均GGTは
投薬有で低い値

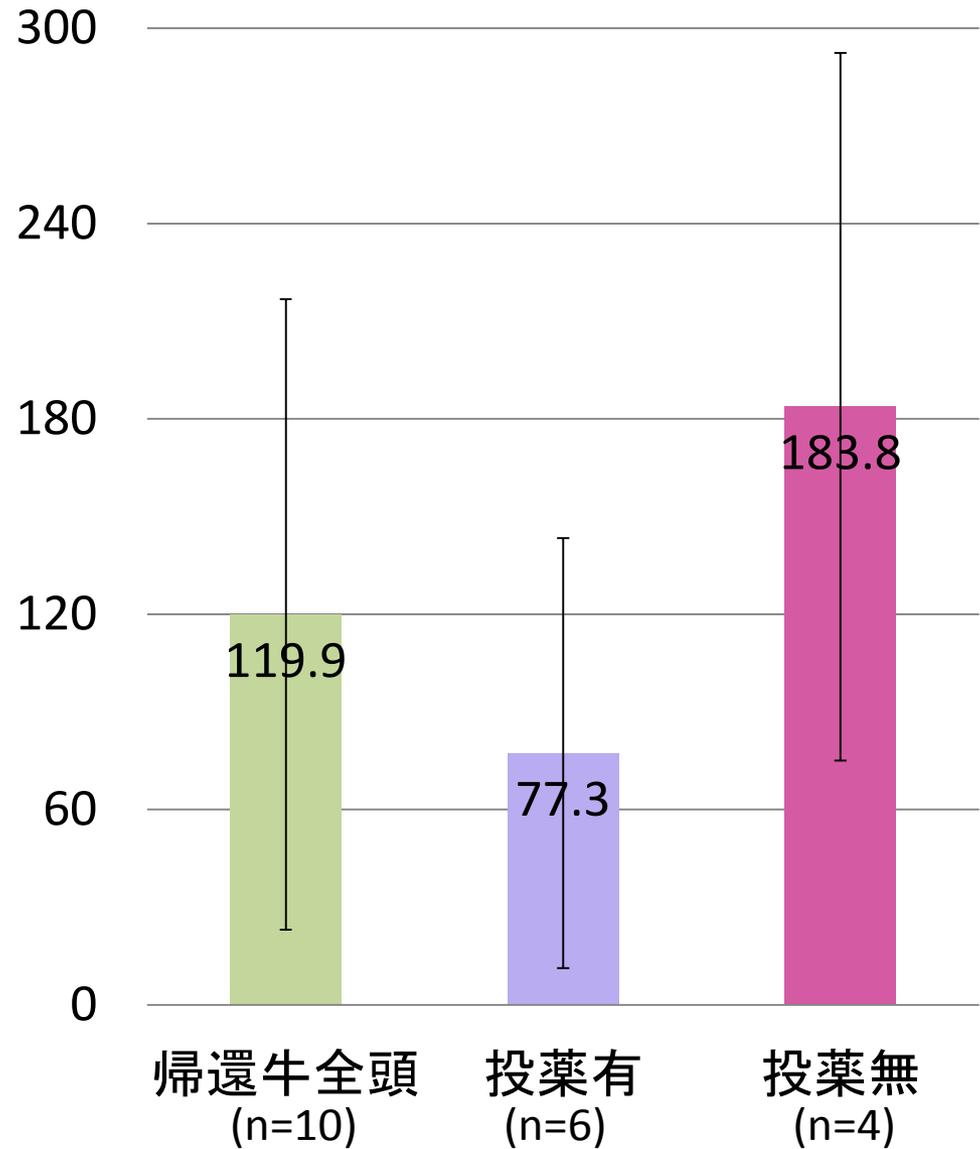


図6: 放牧帰還牛 平均GGT(U/L)

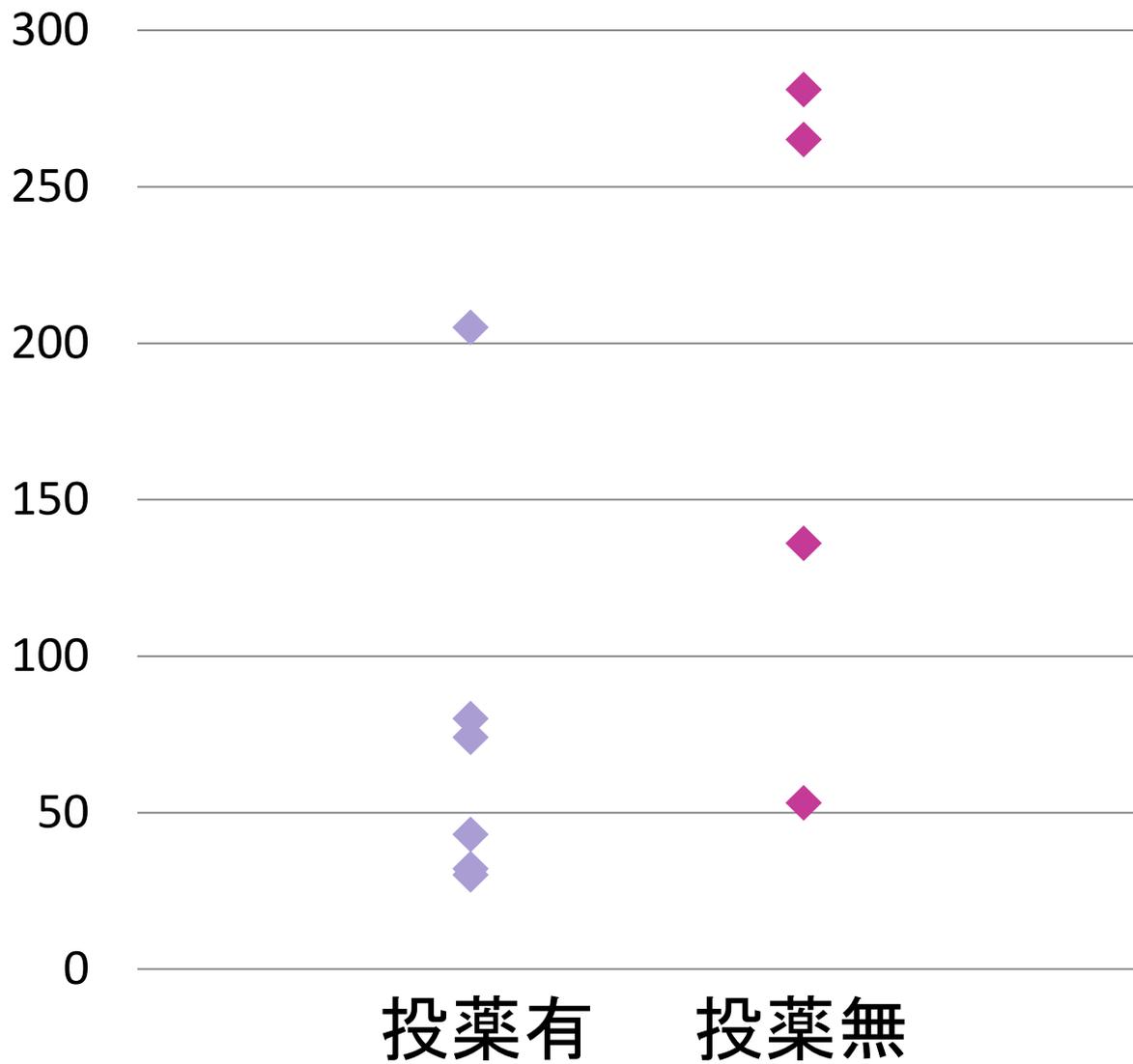


図7: 放牧帰還牛 GGT(U/L)

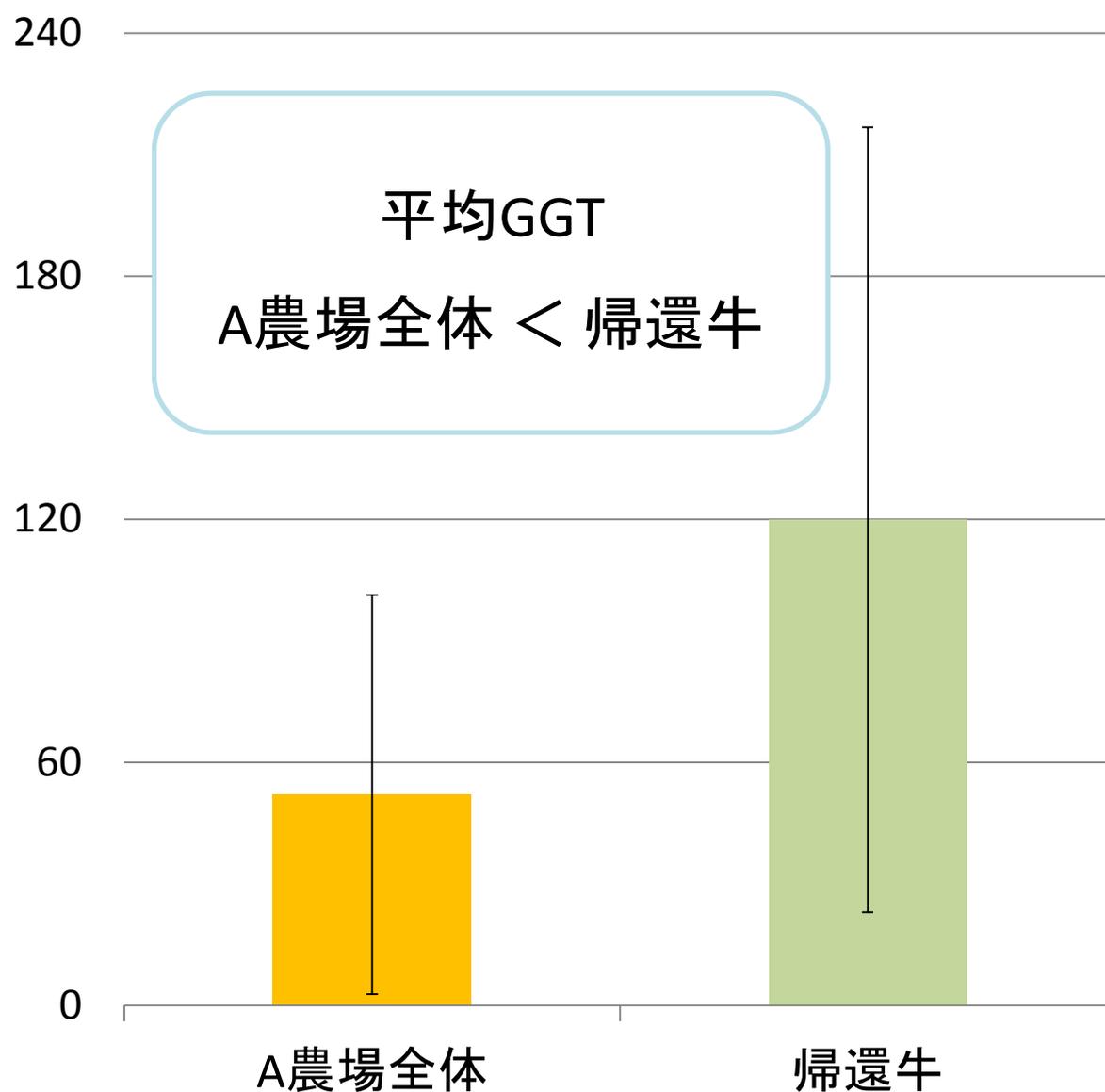


図8: A農場全体と放牧帰還牛の平均GGT(U/L)

11月

>>

5月

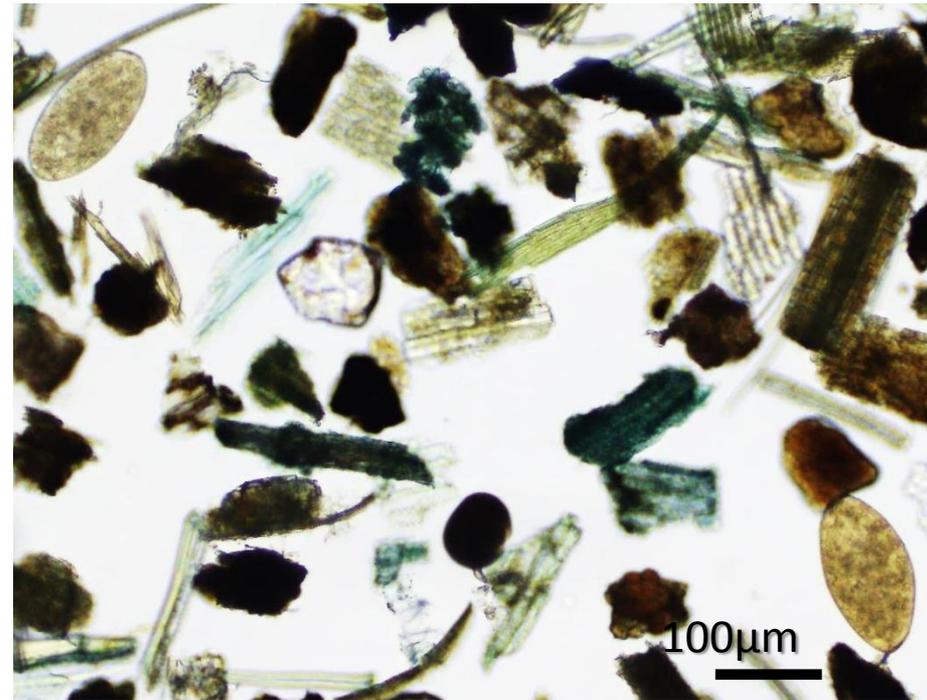
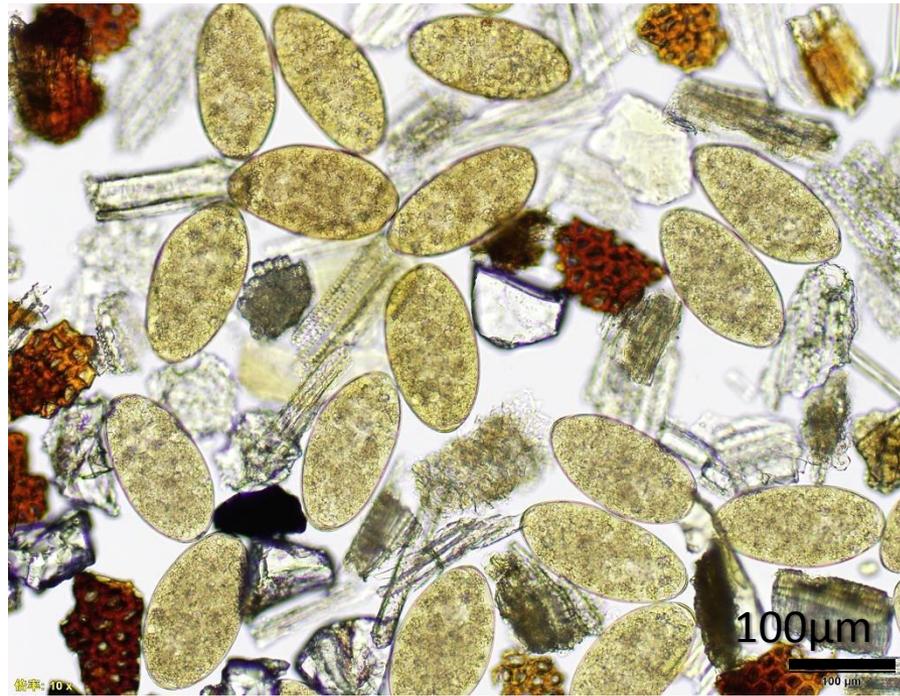
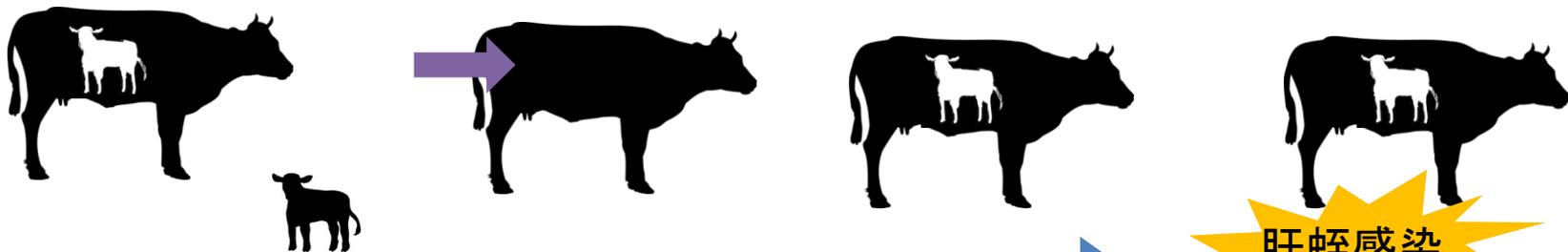


図9: 虫卵の見え方

舎飼い

放牧



分娩
1
〜
2
か月前



分娩

人工授精

妊娠鑑定



感染防除は困難なため
肝機能の早期回復を
目的として



駆虫薬投与時期

放牧直前でなく、**帰還直後**に変更するよう指導

図10: 指導